

ようじえんだより 2018年度12月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

12月主題『喜び合う』

主題聖句：学者たちはその星を見て喜びにあふれた。

マタイによる福音書2章10節

☆ 0～2歳児：イエスさまのお誕生を喜び、さんびかを歌う。クリスマスを楽しみに待ち、みんなで一緒に祝う。寒い冬も元気に過ごす。

☆ 3～5歳児：イエス様のお誕生の意味を知り、共に喜びをもって待ち、礼拝をする。心を合わせて喜びや感謝や讃美の表現をする。社会や世界の出来事を身近に感じながら、自分たちにできる分かち合いや愛のわざを考える。

とことん話し合う

十日町に来て3回目のクリスマスを迎えようとしています。この間、十日町幼稚園の良さをたくさん発見しましたが、十日町幼稚園の素晴らしいの一つに、「クリスマスページエントの配役決め」があります。十日町幼稚園のページエントは年長さんから年少さんまでが一緒になって作り上げるものです。特に年長さんともなるとページエントにどんな役があるかをすべてわかっていて、あこがれの役もあつたりします。そこで自分がやってみたい役を他の子もやりたい場合も多々出てきます。十日町幼稚園の素晴らしいところは、この時に先生も見守りつつ、子どもたちで徹底して役決めの際に話し合う時間をもつのです。ややもすると、先生が仲裁と称して決定したり、くじ引きやじゃんけん決めてたりすることもあるかもしれませんが。

大人になるとそれぞれが向き合って、とことん話すことが難しいことがあります。特に見解の相違がある中でとことん話し合うと、分断がより深くなることもあるでしょう。しかし幼児の場合は大人のような深刻な対立構造にならないの

です。むしろ仲介する友だちも含めて、とことん話し合う中で、より良いものが生まれ、絆が深まり、みんながいきいきとより良いものをつくり出すことも多々あるのです。子どもが大人よりも優れている点の一つであろうと思います。

幸せになるために、喜び合える関係を

クリスマスページエントの中で人気の役の一つに「博士さん」があります。聖書には「学者たち」とも記されていますが、彼らは東の国に住んでいました。イスラエルは歴史的に東隣の国とは仲がよくない関係にありました。しかしその東の国から救い主の誕生をお祝いするため、献げ物をもった博士たちがやってきたのです。そして彼らはイエス様の誕生を知らせる星を見て喜びにあふれました。

共に喜び合える関係がある時、私たちは憎しみや分断を乗り越えられると私は信じます。一人で喜んでいるだけではダメです。その喜びを共有できる仲間がいることで、私たちは辛いことを乗り越えて、喜びに出会い、それが幸せに繋がっていくのだと思います。

年間主題『イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～』

主題聖句：愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。

新約聖書 ヨハネの手紙I 4章11節